



発行所 長野市立城山公民館
電話 232-3111
編集 小池英樹
発行人
印刷所 富士印刷

管内の世帯数 (1・8・1)
第1地区…2,849
第2地区…5,411
合計…8,260世帯

家庭とつながる城山公民館
ひよこくらぶ
あひるくらぶ

城山公民館では、公民館を多世代の学びや交流の場にしたと考えています。人生の生涯学習のスタートをぜひ公民館との関わりから始めてほしいと願っているからです。

そこで、子育て世代、就学前の子どもや小・中学生対象の講座を企画しています。
今回は年間を通して開催する「ひよこくらぶ」「あひるくらぶ」について紹介します。

「ひよこくらぶ」は未就園児の親子対象の市民講座で、年9回開催します。

核家族化により子育てを気軽に相談できる相手がなく、ネットに氾濫する情報に振り回され、孤軍奮闘の子育て家庭が増えています。また、転勤などで信州に住みながらも地域と繋がる

城山公民館市民講座 ひよこくらぶ
子どものための！
骨盤調整ヨガ®
7月11日(木)
時間 10時～11時30分
場所 城山公民館 第二分館
参加費 無料
持ち物 ヨガマット・飲み物・フェイスタオル(持ち出し可)
定員 20名
講師 佐藤 洋子 先生
ひよこくらぶ 講座チラシ

きっかけをつかめずに、孤独な子育てを頑張っているケースも多いようです。

「ひよこくらぶ」では、親子が楽しく過ごせる情報を発信し、同じ世代のママ友との出会いの場も提供しています。

また、時にはボランティアの協力を得て赤ちゃんと離れ、ママがリフレッシュできる講座を企画するなど、様々な提案をしています。

ご家族が、安定した優しい気持ちでお子さんと向き合えるよう、応援しています。



託児の様子



ママはヨガに集中

骨盤調整ヨガ®講座に参加して ～ママの感想～

○初めての参加。ゆったりおだやかな気持ちです。託児もありがとう。

◇体がほぐれて、気持ちもリフレッシュできました。託児もあつて安心して参加できました。

▽こんなに自分の体に向き合ったのは久しぶりです。参加してよかったです。

☆子どもがいると、なかなか自分の時間がとれないので、非常にありがたい講座でした。

○子育てで顔を洗う時間もないくらいなのに、1時間も自分の体に向き合えて本当に良かったです。

◇久しぶりに子どもと離れて全身でリラククスできました。

▽託児があり、本当にリラックスした気分です。体を調整できた。体が軽くなりとてもよかったです！
☆子どもと離れて、ゆつくりとストレッチする時間がないので、うれしい時間になりました。

あひるくらぶ

「あひるくらぶ」は、小学生と保護者を対象にした親子講座です。平日は、子どもは学校、親は仕事と、ともにいそがしく、親子のコミュニケーションを取る時間が確保できません。そこで、土日に親子と一緒に体験して楽しめる講座を企画しています。

昨年度は盆栽や木工教室、うどん作り等、子どもが学校でなかなか体験できない講座を行いました。毎回定員いっぱいので親子が参加しました。そして、親子間だけでなく、他校の親子との交流の場にもなっています。この講座で様々な体験をすることで、食や物の大切さについても考えるきっかけになればと思います。今年度後半には、和菓子作りや陶芸体験などの講座を開催します。親子で一緒に楽しみましょう。

スラックラインに初挑戦 ～子どもの感想～

はじめてスラックラインにのってみたら、むずかしくてすぐにおちてしまっただけ、かた足で5びょうとまるのを何回もやっていたら、できるようになって楽しかったです。つぎに3歩でとまるのをやって、さいごまでわたれたときは、うれしかったです。



小2 小林 寛幸

スラックラインは、細いトランポリンのような網の上で跳ねるスポーツかと思っていました。やってみると立つのも難しく、落ちないように手をあげて、「体がぐにやぐにやしてもいいから全身でバランスを取るんだよ」とコツを教えてくださいました。網の真ん中まで歩けるようになってきた、落ちないで最後まで行けたのがうれしかったです。ジャンプやしゃがむむずかしい技も機会があれば挑戦したいです。

親子で体験！
スラックライン
日時 6月15日(土曜日)
時間 10時～12時
参加費 無料
定員 親子10組
講師 一般社団法人スラックライン推進機構
インストラクター
神田 哲夫さん・鶴田 飛男さん
あひるくらぶ 講座チラシ
お申し込みは城山公民館まで
(平日) 020-232-3111

小6 小林 優仁

世界の料理教室 『カナダの家庭料理』感想

北條 佳代子

去る5月20日、第一回の『世界の料理教室〜カナダ』に参加させていただきました。若槻の成人学校で英会話講師をされているイアン・デイビッドソンさんが、流暢な日本語で故郷のお料理を教えてくださいました。

初対面の方々とグループになり、『メープルサーモン』、具だくさんの『チリビーンズ』、フライドポテトにたつぷりチーズがのった『プーティン』など3

城山史跡巡りウォーキング講座① 『第二地区の史跡巡り』に参加して

向 紀男

日頃運動不足気味の私にとつて「史跡を観ながら健康づくり」は、ぴったりの企画で素晴らしい内容でした。

資料もわかりやすく240年前の絵地図と合わせ観ながら加茂神社をスタート。説明を聞きながら史跡めぐりをし、各所に残る石碑に民間信仰の様子が伺われました。

特に「口留番所」は明治5年まで麻・漆の実などの出入りを取り締まり特産物の規制



品を調理しました。が、どれも美味しく、カナダの風土を感じられる素敵なメニューばかりでした。また、珍しいスパイスなども教えていただきました。簡単レシピだったので、家庭で作ってみたいですが、家族にも大好評でした。今後このような企画があれば、参加したいと思います。

品を調理しました。が、どれも美味しく、カナダの風土を感じられる素敵なメニューばかりでした。また、珍しいスパイスなども教えていただきました。簡単レシピだったので、家庭で作ってみたいですが、家族にも大好評でした。今後このような企画があれば、参加したいと思います。

この講座に参加しなければ知ることがなかった郷土の歴史や行き来する人々の様子も目に浮かんできます。

帰宅後も疑問点は参考書やネットで詳しく知り、その背景などを伺い知ることができ、それも又楽しい一時でした。



馬頭観音・不動明王

市民講座への参加 ありがとうございます!

城山史跡巡りウォーキング講座② 『第一地区の史跡巡り』 善光寺周辺、城山は宝の山

小池 延幸

6月6日に元長野市誌編さん委員の高木寛さんの案内で石碑巡りをしました。この地に数多くの文人（一茶、芭蕉、良寛など）が訪れ、この地を愛し、句碑が残されていること、善光寺地震（170年程前）の際には、善光寺の本尊が現在の城山公園の北側に移され、如来遷座碑が残されていること、水内大社（県社）の脇には巨大な明

この地を愛し、句碑が残されていること、善光寺地震（170年程前）の際には、善光寺の本尊が現在の城山公園の北側に移され、如来遷座碑が残されていること、水内大社（県社）の脇には巨大な明

原田要 平和への祈り 『元ゼロ戦パイロットの 100年』感想

廣澤 伊一郎

終戦から70余年が過ぎ、表向きは平和で自由な社会に見えるが、真にそうなのか。

映像には、原田要氏の長野市浅川地区での幼少期から、優秀なゼロ戦パイロット時代や指導教官時代の悲惨な戦争体験、また戦後の幼年教育に懸ける思いなど、99歳で亡くなるまで

治天皇駐蹕の碑があることなど、案内いただき、初めて知りました。

善光寺を中心とした城山は子どもの時から自分の庭とばかりに有り難く遊ばせていただき、年を取ってからも知的好奇心を満たしてくれる故郷であり感謝です。同様の講座をまた楽しみにしています。



如来遷座碑(善光寺大地震)

の人生の実体験とその思いが克明に表現されていた。

原田氏の、「戦争ほど人道に反した残酷な行為はなく、罪悪であるということが、次の世代に伝えていくことが我々に残された使命だ。」とのメッセージに、強い使命感をおぼえた。

戦争反対への取組みの形骸化が垣間見られる現在、「平和を願う新たなモニュメント」としてのドキュメンタリー報道作品である。冒頭の疑問に対し、今後も深く考えていきたい。

城山公民館 企画
杜氏から見た
あなたの知らない
菌の世界

日時 9月30日(月)10時~
場所 城山公民館第二分館
2階集会室
講師 西之門よしのや杜氏
原田 浩生さん
[定員 30人 参加費 無料]
お申込み 城山公民館

第二地区住民自治協議会 10周年記念
「われらが愛する地附山」
日にち 9月29日 日曜日
展示会 10時から
「地附山トレッキングコース愛護会と
地附山の山野草」
講演会 13時30分から16時
「地附山の生い立ち」
戸隠地質化石博物館
田辺 智隆
「地附山の植生」
戸隠地質化石博物館
中村 千賀
参加費 無料

城山公民館 親子講座あひるぐら 第6回 開催
陶芸教室
芸術の秋！一緒に陶器体験しよう
9月28日(土)・10月19日(土)
※全2回講座、両日参加でも親子対象
時間 10:00~12:00
場所 城山公民館
102教室・陶芸室
定員 親子10組(親子約)
参加費 1組500円(材料費込)
持ち物 手ぬぐい(親子で1枚)
汚れても良い服装
講師 城山陶楽会の皆さん
お申し込み…城山公民館まで

善光寺門前町の考古学

日時 9月19日(木)10時~
場所 城山公民館 第二地区
分館 2階集会室
講演 「善光寺門前町の
考古学」
長野市埋蔵文化財
センター研究員
田中 暁穂さん
受講料 無料
お申し込み 事前に城山公民館まで

これからの
市民講座
お申込みを
お待ちしております

足もとから知るわが町の成り立ち

連載②「箱清水式土器の発見・命名ものがたり」

戸隠地質化石博物館

田辺 智隆

箱清水遺跡の発見後、各地で弥生時代の遺跡が発掘され、この時代の研究が進むようになります。弥生時代は、稲作や青銅や鉄などの金属利用等、中国大陸からの新しい技術が持ち込まれました。長野県には、おもに東海地方から新しい文化が伝わったと考えられ、各盆地で稲作が始まり、それぞれの地域で独自の文化が育っていったものとされます。

こうした県下各地の弥生土器が研究され、土器の形式をもとに、地域ごとの特徴や関連性が明らかになってきました。そして、その土器のつくられてきた順序を考える「土器の編年」が行われるようになりました。その中で箱清水遺跡の土器は千曲川中流の佐久から飯山にかけての地域で使われ、弥生時代後期（約1800～1700年前）を代表する典型的な土器だということが明らかになってきました。そして、昭和11年（1936）、諏訪出身の考古学者藤森栄一によって「箱清水式

土器」と命名されたのです。

弥生時代後期、善光寺平では稲作が盛んになり、青銅や鉄などの金属を加工する技術も伝わりました。大きな集落ができ、さらに「クニ」としてのまとまりができていったものと考えられています。「魏志倭人伝」に記された、卑弥呼が治めた「邪馬台国」もこの「クニ」の一つです。それらがさらに合わさって、大きな古墳が作られる時代へと移りかわって行くのです。

弥生時代後期、人々は扇状地の末端など水田をつくりやすくて日当たりのよい場所に住み、その集落跡が遺跡として見つかることが多いようです。しかし、箱清水遺跡のある長野西高校は高台にあり、深田町一帯の低地を望む場所にあります。この低地を水田として利用し、古くか



千曲川流域に広がった箱清水式土器



長野西高の高台が遺跡
手前の低地は農地だった

ら稲作が行われていたと考えられますが、他の遺跡とは違った一面をもっているのも事実で、何かの意味がある場所なのかもしれませぬ。

明治時代に女学校が建てられ、その校長先生が土器を見つけ、長野県を代表する弥生時代後期の遺跡であることがわかり、箱清水式土器と名付けられました。その後の調査では、縄文時代の土器や石器、古墳時代や平安時代の土器なども出土していることがわかっています。

この一帯は、さまざまな理由から人々が暮らしを続けてきた場所でした。時代ごとに周囲の風景も変わっていったはずですが、それぞれの時代に、どんな人々が何を考えて暮らしていたのか、想像してみるとおもしろいですね。

シリーズ 我が町 滝

区長 小林 昭彦



滝区には約450世帯の方が住み、大半が住居で、商店などはほとんどありません。

善光寺北側に位置し、善光寺北、南往還道に挟まれた地域に集中していますが、地附山頂上までが滝の地籍になるため面積としては広くなっています。善光寺の北側は、以前大きな池となっており、堀切沢を開削して三輪地区方面に灌漑し、干上がった土地が農地へと変わっていききました。田んぼは軟弱な地盤で耕作時は足を取られて大変であったようです。したがって今ではほとんどが宅地化されていますが、以前の土質がそのまま残っているため、少し掘れば当時の葎などの植物が黒変した状態が出てきます。

数年前の神代断層地震ではこの軟弱地のために集中して被害が出てしまいました。また、池の名残としては渡し船を留めるためといわれる船繋ぎ石があります。

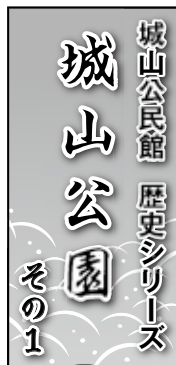
お宮、お寺もあり、一番は駒形嶽駒弓神社が地附山中腹にあります。「こまんたけ」と呼ばれ上松5区の鎮守として、お祀りしています。このお宮は善光寺と関係が深く、童子さんさんの一つの行事として、善光寺のしめ縄、松飾を焼くお駒送りの行事が2月1日に行われています。更に社殿の造りは撞木造りで、善光寺と同じになっています。

他のお宮としては駒弓神社の西方に、金毘羅宮、前記の船繋ぎ石の近傍に大神宮があり、春祭り、風鎮祭、新嘗祭と行っています。最後にもう一つ、古いお寺が法泉院で地元では不動さんと呼ばれるお寺で、18世紀ごろ善光寺から移されてきたと言われています。

結びとして、伝統行事も大切に、新しい地区おこしもいろいろ模索しながら、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる滝にしていきたいと思えます。



滝村の旗



広く長野市民に親しまれてきた城山公園が、今大きく生まれ変わるうとしています。大噴水や花時計、信濃美術館など、往年の姿が懐かしく脳裏に浮かびます。

さて、市民憩いの場所「城山公園」はいつだったのでしょうか。城山公園が姿を変える前に、これまでの歴史をたどり、長く記憶にとどめておきたいと考え、歴史シリーズ「城山公園」をスタートします。

城山公園は、その一帯が同時期に作られたわけではありませぬ。時代の変遷とともに、徐々にその姿を形作っていったのです。

中世に遡ると、広く長野盆地を見渡せる絶好の地の利を生かして横山城が築かれ、川中島の戦いでは上杉方の城とされたと言われています。

明治12年には横山城主郭址に健御方富命彦神別神社が遷され県社となりました。

明治14年には、現在の城山公民館南に信濃招魂社が創建

され、西南戦争の県下戦死者140人を祀り、後に日清・日露戦争の戦没者が合祀されました。この信濃招魂社は昭和18年に現在地（少年科学センター北）に遷座しました。

まいで、一般の公園と比べ異質な感じがしますが、実はそこには深いわけがありました。明治11年、明治天皇が長野町巡幸の時に、城山から見渡す景色を「佳境である」と表現されたといえます。眼下に千曲川・犀川を望み、古戦場や4郡の山々を一望できる絶景の地であったからでした。

そして、明治20年、城山館が現城山公民館の場所に開館し、宴会・集会・演説会などが盛んに開催されるようになりました。これが後の長野市公会堂の前身です。

御慶事記念公園は絶景の大自然を借景としつつも、これらの景色より広く大きく、しかも自然に見せる手法で、公園そのものを眼下の景色に調和融合させるように周到に設計されていたのです。

御慶事記念公園

城山公民館の東には、斜面一帯に素晴らしい枝ぶりの赤松が植えられた公園が整備されています。見事な松は手入れが行き届き、美しい景観を見せています。実は、この公園こそ、時の東宮殿下（後の大正天皇）の御慶事（御成婚）をお祝いするため、長野市が明治36年に新設した御慶事記念公園なのです。

改めて公園を散策すれば、滝の趣を演出する石の配置やその下の州浜・干潟などの多くの工夫に、東京から招かれた名のある庭師の心意気につれ、深い感動をおぼえます。

各所に配置した石は駒ヶ岳・浅間山より、植え込んだ桜・松・紅葉などは多くを東京からとりよせて造園されたと伝えられています。一見、盆景を見るような佇



竣工当時の御慶事記念公園

折々日記 「地域の多幸を祈る秋」

山口 美緒

8月下旬から10月にかけて、各地区の神社では秋季例大祭が執り行われます。町の要所に赤い提灯が連なり、神輿連や神楽行列が賑々しく町を練り歩きます。毎日のように打ち上がる花火に、移住してきた当初、大変驚きました。

地域のみなさんが、その大切なお祭のために細やかな気配りをされながら粛々と準備を進められていく様子や、お祭に集う地域の方のうれしそうな表情を見てみると、県庁所在地である長野市、また第二地区という大きな地域ではありますが、もとは小さな村々で、いまなお、そうした小さな村々が息づいていることを感じて感慨深くもありません。

慣れてしまうと当たり前の年中行事かもしれません、そうして遠巻きにしたがために途絶えてしまった時代や地域もあります。地域に暮らす人たちがともに秋の収穫や無事を氏神様に感謝する行事。こんな美しい文化が長く続きますようにと、願うばかりです。

新刊図書のご案内

- | | |
|--------------------------|----------|
| なんでも、漬けもの。 | 河井 美歩 |
| お茶壺道中 | 小林 よう |
| 救いの森 | 堂場 瞬一 |
| ザ・ウォール | 朝井リョウ |
| 死にたいを求めて生きている | 大島真寿美 |
| 渦 | 香納 諒 |
| 新宿花園裏交番坂下巡査 | 木皿 泉 |
| カゲロボ | 新堂 冬樹 |
| 少年は死になさい…美しく | 辻村 深月 |
| 傲慢と善良 | 五十嵐美和子 |
| くもとそらのえほん | 祝護 今野 |
| 呪護 | 鹿の王 水底の橋 |
| 上橋菜穂子 | 伊坂幸太郎 |
| 獅子王 | 赤神 諒 |
| 戦神 | 柳澤 由梨 |
| わが家のおいしい梅干し・梅シロップ・梅酒のレシピ | 岡本よろろう |
| パンダのパンやさん | |

あちこちスナッフ



御慶事記念公園より市街地を望む

編集後記

世は、「働き方改革」。生産年齢人口の減少に直面し、主要国の中でも低いとされる労働生産性を上げて、労働時間の縮減、休暇の取得につなげ、多様で柔軟な働き方を実現するとされています。年齢や性別などに関係なく、意欲のある人が、相互に認め合いながら、生き生きと働ける労働環境へと見直す機会になればと思います。そして、自分磨きに公民館もご活用を。 (北條)